

成長期待企業
の
イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

耕
うん
爪

東亜重工株式会社

新たな技術に挑み
高い耐久性を実現
日本の農業を爪で支える

1台の耕うん機には約40本の爪が装着され、土を耕しています。同社の主力商品は、取り換え用の「耕うん爪」。大手農機具メーカー4社の耕うん機に対応する汎用品を製造するほか、株式会社クボタ向けには正規品（純正）の爪も製造しています。

刀鍛冶をルーツに持つ金物のまち、三木で1892年に創業。当初は鋤^{くわ}や鋤^{すき}などの農道具の補修を主に手掛けていました。戦後は農業の現場でも機械化が進み、耕うん機を導入した農家から取り換え用の爪を供給してほしいとの依頼が来るように。次第に同社の主力事業に育っていきました。

爪は土に入りやすい「く」の字型をしていて、土を砕いて掘り起こし、ならすためにカーブを付けた形状になっています。特殊鋼を1,200度の高温で熱し、金型に載せて上から叩くことで曲線形状を作り、冷却した後に火入れをして強度を持たせます。

爪はさまざまな土壌の質への対応と耐久性が求められます。1997年に販売した「スーパーゴールド爪」は、従来品に比べ幅と厚みを持たせたことで耐久性が強化され、主力商品となりました。また、全ての商品を「幸運爪」と称するなどネーミングにもひと工夫しているのが同社製品の長です。仲嶋義孝社長の「当社の爪を使って豊かな実りにつながってもらえれば」との思いが込められています。

今年1月、特殊鋼の母材の表面に超硬特殊合金を溶着させた新製品「キングコブラ爪」「コブラ爪」を発売しました。長年、溶着という新技术に挑んできたものの壁に突き当たり商品化できずにいましたが、相次いで入社した仲嶋社長の長男・尚真さん、次男・宏純さん、三男・史貴さんが力を合わせて難題を克服、商品化にこぎ着けました。「商品開発だけでなく販路開拓も含め、息子たちの新しい発想でさらに事業を伸ばしてほしい」と今後に期待をかけています。



高い耐久性を誇るキングコブラ爪

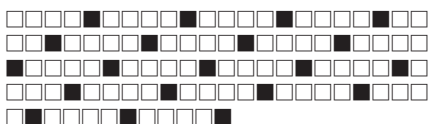


未来を担う尚真さん、宏純さん、史貴さん（左から）の3兄弟

◎東亜重工株式会社の
耕うん爪

東亜重工株式会社 / 所在地: 三木市鳥町607-3 / 代表取締役社長: 仲嶋義孝
事業内容: 耕うん機用爪の製造
TEL 0794-82-5321 / URL <https://www.toa-blade.com/>

編集後記



JUMP

2019年5月号 平成31年4月30日発行
発行人: 赤木正明 編集人: 安部則行

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
神戸市中央区東川崎町1-8-4

神戸市産業振興センター1階・2階・7階

TEL 078-977-9070(代) URL <https://web.hyogo-iic.ne.jp/>